

令和5年度鴨川フォローアップ委員会

# 鴨川河川整備計画

## 千年の都・鴨川清流プラン

### 実施状況

令和6年2月16日

# 「千年の都・鴨川清流プラン」の位置づけ

鴨川流域  
懇談会  
〔千年の都と鴨川〕

## 鴨川河川整備計画

目標期間：概ね30年間（H21(2009)～

### I期 水辺の回廊・鴨川創造プラン

対象期間：概ね5年間（H21～H25）

### II期 千年の都・鴨川清流プラン

対象期間：概ね5年間（H26～）

	《整備計画の目標》	《重点施策》	《重点施策》	《ページ》
安心・安全の鴨川をめざして	<p><b>洪水による災害の防止又は軽減に関する目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆河川工事                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・下流築堤部(桂川～七条大橋)の河川改修</li> <li>・七条大橋より上流の治水対策の検討</li> </ul> </li> <li>◆ソフト対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川情報発信施設、洪水シミュレーション</li> <li>・洪水予測の精度向上等</li> <li>防災訓練、出前講座</li> </ul> </li> <li>◆河川維持                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川構造物の点検・修繕等</li> <li>・中上流部の中州寄州管理</li> </ul> </li> </ul>	<p>◆治水対策の推進 下流築堤部(桂川～七条大橋)の河川改修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・測量・調査・設計</li> <li>・H25からの工事着手</li> </ul> <p>中上流部の中州寄州管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・七条大橋～二条大橋</li> <li>・二条大橋～柵野堰堤</li> <li>・環境調査</li> </ul>	<p>◆河川改修の着実な推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>低水路拡幅(鳥羽大橋～桂川合流点)</u></li> <li>・井堰改修(龍門堰)</li> <li>・高水敷整備(仏光寺通～五条大橋：右岸)他</li> </ul> <p>◆多発する集中豪雨への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>洪水予測の精度向上等</u></li> <li>・河川情報発信施設、洪水シミュレーション</li> </ul> <p>◆経験のない大洪水への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・治水安全度の向上方策検討(浸水想定区域図)</li> </ul> <p>◆適切な維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川構造物の点検・修繕等</li> <li>・<u>中上流部の中州寄州管理(中州管理と生物モニタリング)</u></li> </ul>	5～7 8 9 10
千年の都 京都の美しい鴨川をめざして	<p><b>流水の正常な機能の維持に関する目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆河川利用と流水の維持                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな緑を守る条例などとの連携</li> <li>・京都市共生プランとの連携等</li> <li>・雨水貯留・浸透施設の設置</li> </ul> </li> </ul>			
より一層多くの 人から 鴨川を めざして	<p><b>河川環境の整備と保全に関する項目</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆水質の保全                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道管理者との連携</li> </ul> </li> <li>◆自然環境の保全                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境マップ等の作成</li> <li>・河川愛護の高揚</li> </ul> </li> <li>◆景観                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・鴨川条例に基づく指導</li> <li>・工事看板、占用に対する指導</li> </ul> </li> <li>◆河川空間利用                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・条例・府民会議・バリアフリー等</li> <li>・ジョギングロードの整備</li> <li>・拠点整備</li> <li>・縦断方向の連続性の確保(回廊整備)</li> <li>・西高瀬背割り堤の整備</li> <li>・自転車道整備の検討(桂川合流～五条大橋)</li> <li>・堤内地を含めた散策コースの検討</li> <li>・鴨川を中心としたまちづくりの誘導</li> </ul> </li> </ul>	<p>◆公共空間整備 自然環境マップ等の作成</p> <p>アウトドアアクティビティ施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジョギングロードの整備</li> <li>・拠点整備</li> </ul> <p>安らぎや憩いを感じるアメニティ施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑の回廊(鳥羽大橋～御池大橋)</li> <li>・水とのふれあい回廊(桂川合流点～鳥羽大橋)</li> <li>・西高瀬背割り堤の整備</li> </ul>	<p>◆良好な水辺環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流況の把握</li> </ul> <p>◆歴史都市・京都における鴨川の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>鴨川景観のあるべき姿の具体的検討等(室外機対策)</u></li> </ul> <p>◆河川区域内行為の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>不法行為への対策</u></li> <li>・<u>不適切行為への対策</u></li> </ul>	12 13
			<p>◆鴨川の持つ魅力“楽しみ、憩い、ふれあい”の空間創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>黄昏時利用スポットの充実(照明設置を検討・実施)</u></li> <li>・川の自然体験スポットの充実(拠点整備を進める)</li> <li>・鴨川ギャラリー等の整備</li> <li>・四季の彩りスポットの整備(フラワースポット等)</li> <li>・飛石による回廊ルートの強化</li> <li>・水辺環境の保全・再生(魚道設置、瀬・淵再生等)</li> <li>・利用者の快適性の向上(光・映像による演出他)</li> <li>・<u>河川公共空間の適切な維持管理</u></li> </ul> <p>◆NPOや大学、地域との連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>鴨川探検等体験学習や環境教育の展開</u></li> </ul>	14 15,16 17,18

# 「千年の都・鴨川清流プラン」の位置づけ

## ◆鴨川河川整備計画の概要

### ○鴨川流域の概要

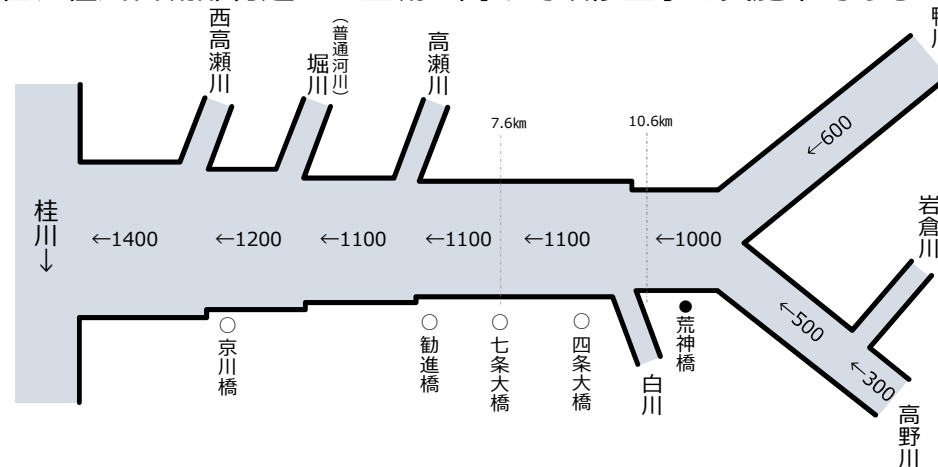
- ・流域面積は210km<sup>2</sup>であり、京都市と滋賀県大津市にまたがる。
- ・約7割が山地を占め、残り3割の平地は京都盆地とその上に広がる扇状地で形成されている。
- ・流域内には京都市民の半数ほどが居住している。

### ○鴨川河川整備計画 〈治水〉

河川整備計画とは、今後20～30年間の河川整備の目標や内容を定めたもの。

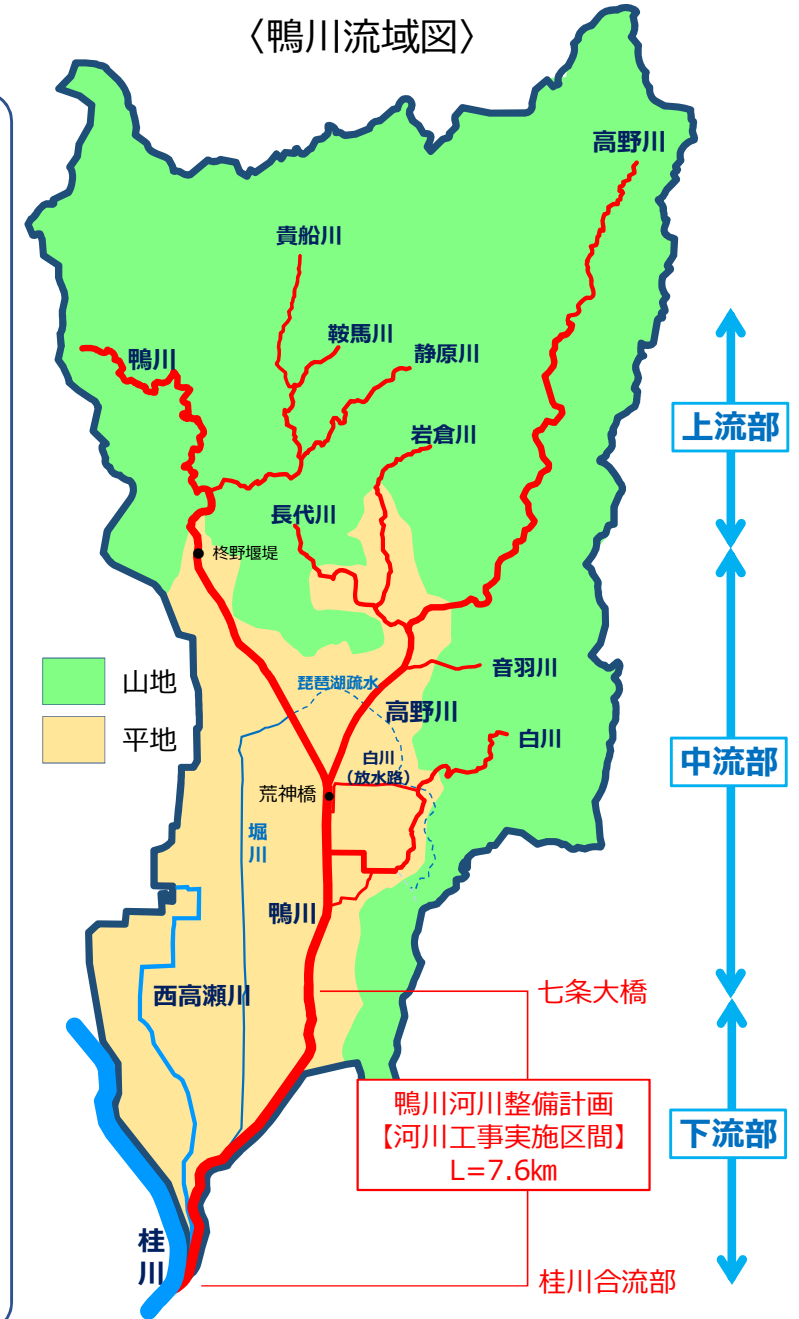
桂川合流部から七条大橋(約7.6km)において、概ね30年に1度起こり得る降雨(1年間にその規模を超える雨が降る確率が1/30)による洪水(荒神橋地点流量毎秒1,000立方メートル(以下「m<sup>3</sup>/s」と表記))を安全に流下させることを整備目標として平成22年1月に「鴨川河川整備計画」を策定。

現在、桂川合流部付近から上流に向けて改修工事を実施中である。



### 〈環境・空間整備〉

下流部においては、護岸の改修にあわせて散策路のネットワーク化や植栽整備により一層親しまれる河川空間の創出を図ること、「鴨川条例」を踏まえ歴史都市・京都にある鴨川的环境、景観の保全を目指すこととしている。



# 「千年の都・鴨川清流プラン」の位置づけ

## ◆重点整備区間について

### 【鴨川河川整備計画（H22.1策定）】

#### ◆整備区間

流下能力が低い築堤区間  
(桂川合流部～七条大橋約7.6km)

#### ◆整備内容

概ね1/30規模の河道改修等

### 【千年の都・鴨川清流プラン（H26.1策定）】

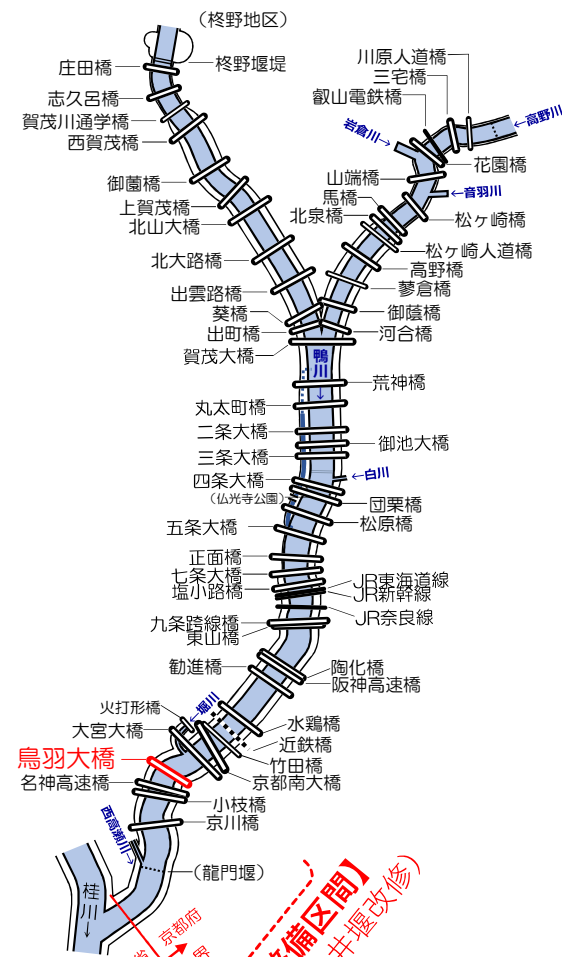
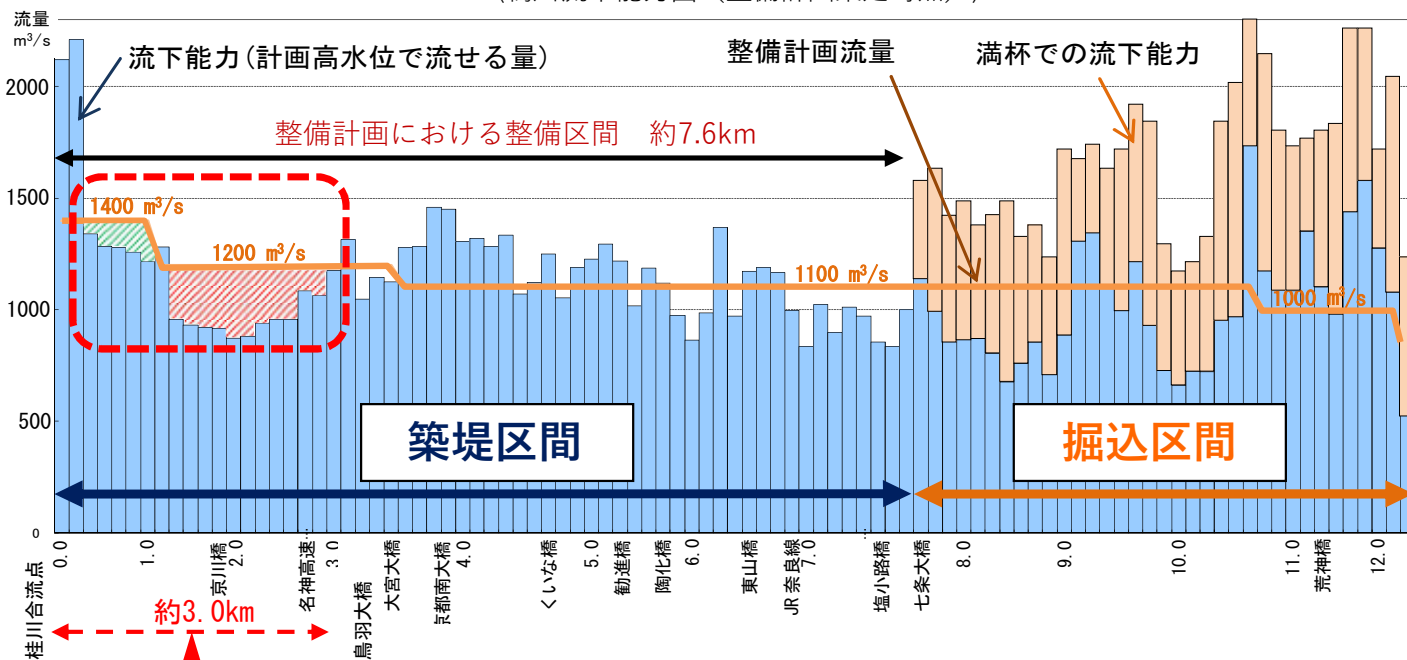
#### ◆重点整備区間

流下能力が低い築堤区間の下流区域  
(桂川合流部～鳥羽大橋約3.0km)

#### ◆整備内容

概ね1/30規模の低水路拡幅、護岸整備  
井堰改修等

〈鴨川流下能力図（整備計画策定時点）〉



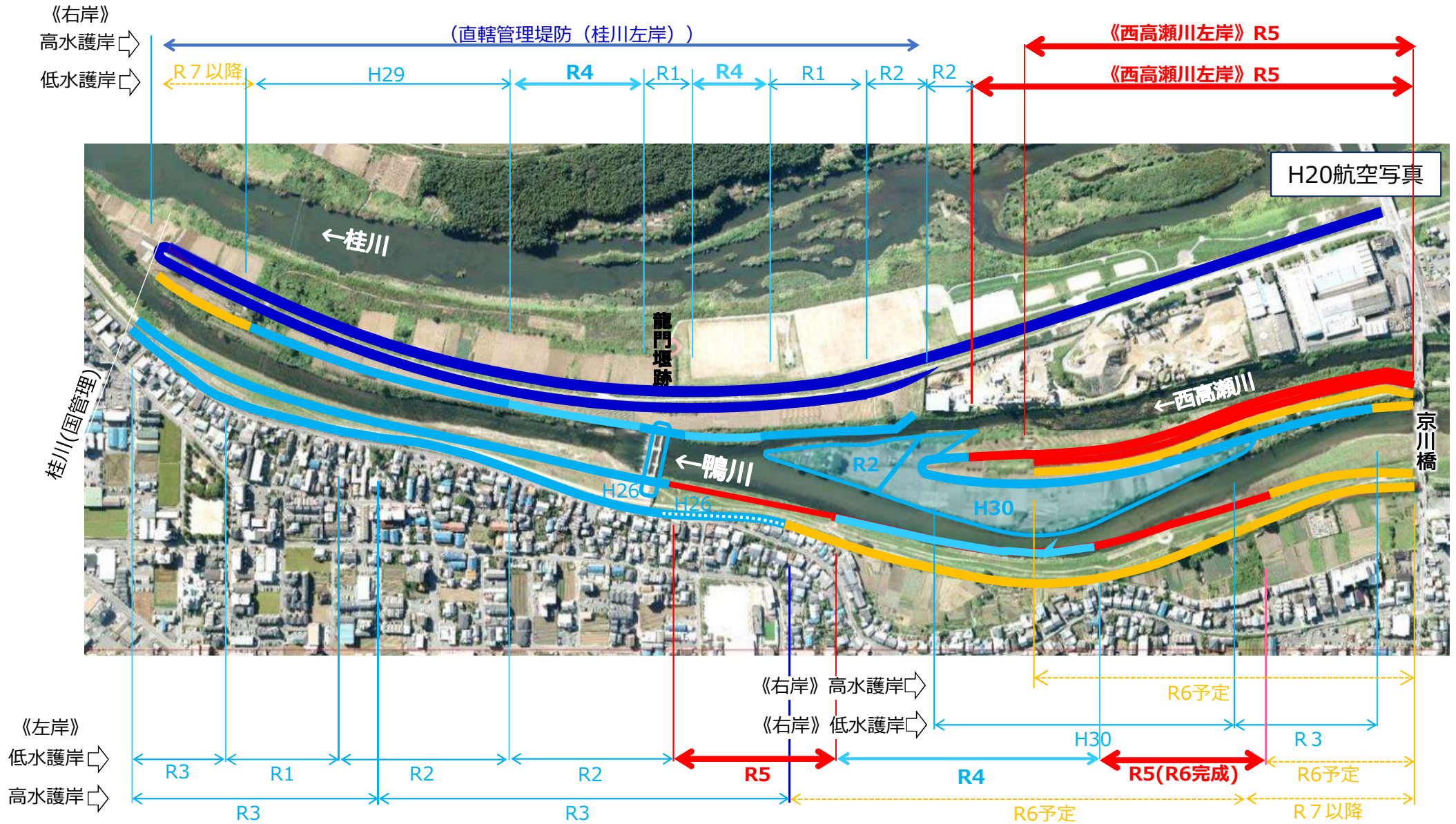
千年の都・鴨川清流プランにおける重点整備区間

【重点整備区間】  
(低水路拡幅・井堰改修)

# 安心・安全の鴨川をめざして【取組内容】

## 河川改修の着実な推進

- ・鳥羽大橋～桂川合流部付近の治水安全度向上を図る



# 安心・安全の鴨川をめざして【R5年度の取組】

## 河川改修の着実な推進

### ・ R5年度の実施状況

- ① 鴨川 京川橋下流の左岸低水護岸整備
- ② 西高瀬川 下流左岸護岸整備



### <護岸整備状況>

京川橋から下流側 (写真A)



西高瀬川合流部から上流側 (写真B)

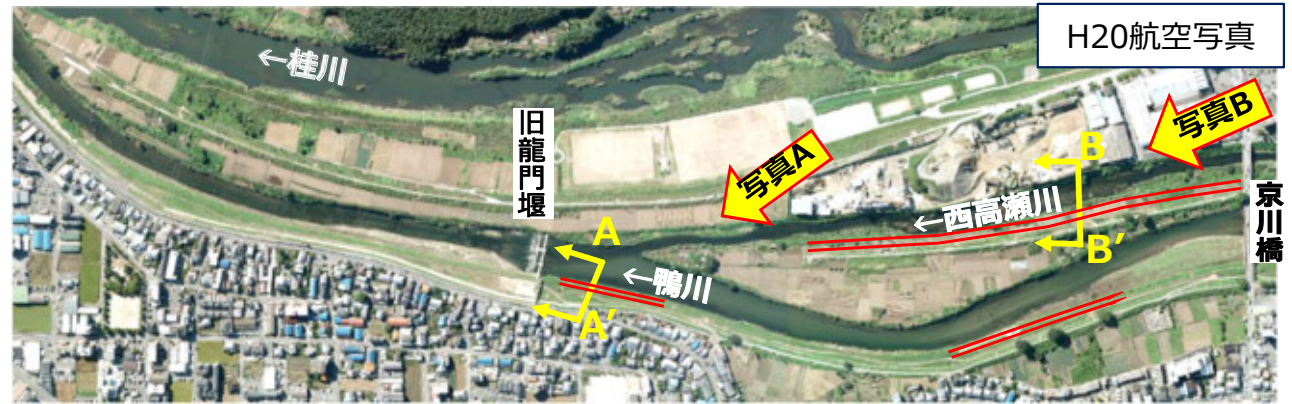


# 安心・安全の鴨川をめざして【R5年度の取組】

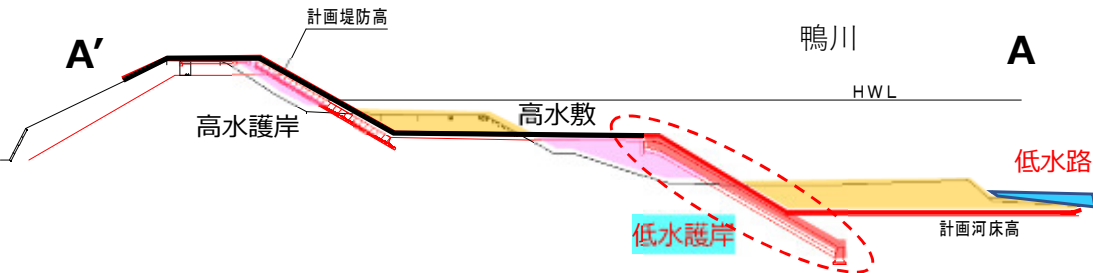
## 河川改修の着実な推進

### ・ R5年度の実施状況

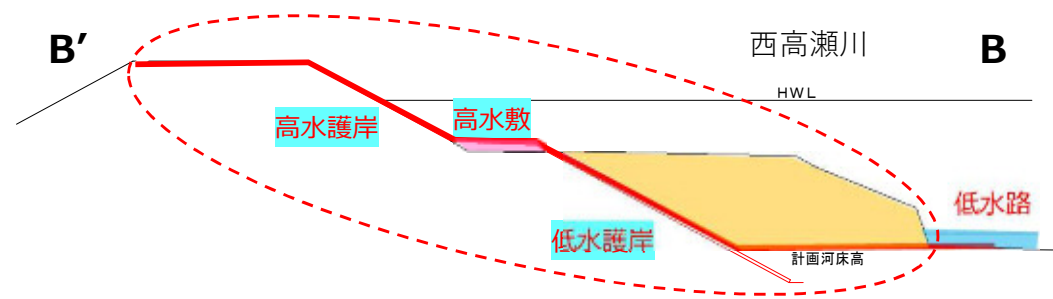
- ①京川橋下流の左岸低水護岸整備
- ②西高瀬川下流左岸護岸整備



①鴨川 西高瀬川合流部下流左岸 (写真A)



②西高瀬川 左岸 (写真B)



低水護岸の整備



高水護岸・低水護岸の整備

# 安心・安全の鴨川をめざして【R5年度の取組】

多発する集中豪雨への対応（京都府水位・氾濫予測システムの構築）

## ● 6時間先までの水位と氾濫時の浸水区域を予測

**R5年6月試験運用開始 情報を京都市に提供**

### ○予測情報を府・市町村がリアルタイムで閲覧可能

- ・鴨川流域では水位予測地点が1地点から12地点に増加  
（上賀茂、北山大橋、荒神橋、東松ノ木、大原、松ヶ崎橋、岩倉、長代川、小枝橋、岩倉-1、鞍馬川-1、貴船川-1）

### ○システム精度：

降雨実績による再現計算※ではピーク水位差：平均21cm

鴨川水系では上賀茂25cm、北山大橋10cm、荒神橋16cm、東松ノ木15cm、大原17cm、

松ヶ崎橋14cm、岩倉30cm、長代川10cm、小枝橋26cm)

※・再現計算可能な府水位局97観測所における再現計算（全水位局は238局）

・過去5洪水の再現計算の平均（桂川下流域ではH25.9、H30.7など5洪水）

・リアルタイム予測では現時刻水位を実水位で補正

### ○R5年度運用状況（中規模以上）

- ・中規模以上河川を対象に氾濫危険水位（避難指示相当位）を超えた場合に予測結果を分析

→府域では、超過予測25回（内12回超過、13回未超過）

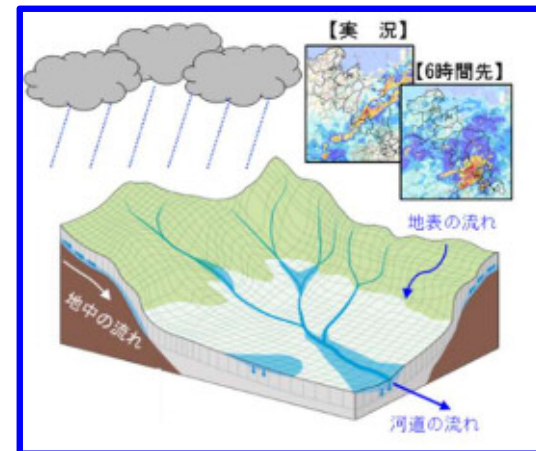
12回の超過予測の内10回は実際の超過時刻が早かった。

↑降雨予報の不確実性の影響

→鴨川では超過実績なし（予測、実績ともに水位超過なし）

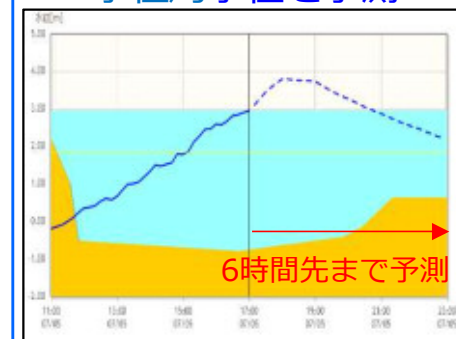
- 今後：実用化を目指し、精度向上や分析を進めるとともに  
タイムライン見直しや体制構築について京都市と調整

京都府水位・氾濫予測システム



出力情報

水位局水位を予測



氾濫区域・浸水深を予測





# 安心・安全の鴨川をめざして【R5年度の取組】

## 多発する集中豪雨への対応（河川情報発信施設）

### ● 鴨川三条右岸に河川情報発信装置を設置

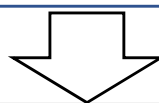
#### ◇ 鴨川三条大橋周辺の安心安全と魅力づくり（府市協働の施策）

##### 安心安全な河川空間づくり

- ・ 河川改修の更なる推進
- ・ 水位・氾濫予測システムの開発
- ・ 河川防災情報の的確な伝達

##### 鴨川の魅力の更なる向上

- ・ エアコン室外機の景観対策
- ・ 鴨川納涼や京の七夕におけるプロジェクションアートや友禅流しのライトアップ等
- ・ 更なる取組について府・市・地域等と連携し検討・実施



（内容）大雨注意報等発表時に危険情報として注意喚起を行う河川情報発信装置を設置。

令和5年8月15日（出水期）稼働状況



##### 日本語と外国語表示

河川敷から離れて  
请勿靠近河岸

発表中の注意報・警報

大雨警報

洪水警報

令和5年11月5日（非出水期）

鴨川クリーンハイクでの活用状況



# 安心・安全の鴨川をめざして【R5年度の取組】

## 適切な維持管理

### 【平成21年～令和元年】

中州の管理（浚渫等）を10年1サイクルで実施し、土砂の堆積や流出の傾向を調査。

※10年間の浚渫量 = 約10万m<sup>3</sup> ≒ 小学校の25mプール 約330杯分

### 〈結果〉

- ・昭和10年大水害後の計画河床高と比べ、ほぼ全区間で低下傾向
- ・場所によって土砂堆積が顕著であり、10年で複数回の浚渫が必要

### ○二条大橋～柵野堰堤

鴨川河川整備計画策定後、平成21年～令和元年の中州管理の実績から**今後10年の土砂堆積を想定し、10年後まで治水安全度を確保できない区間（手当をしないとHWLを超える区間）**を設定。

さらに、危険度に応じて**ランクA～Dに区分**する。（右図参照）

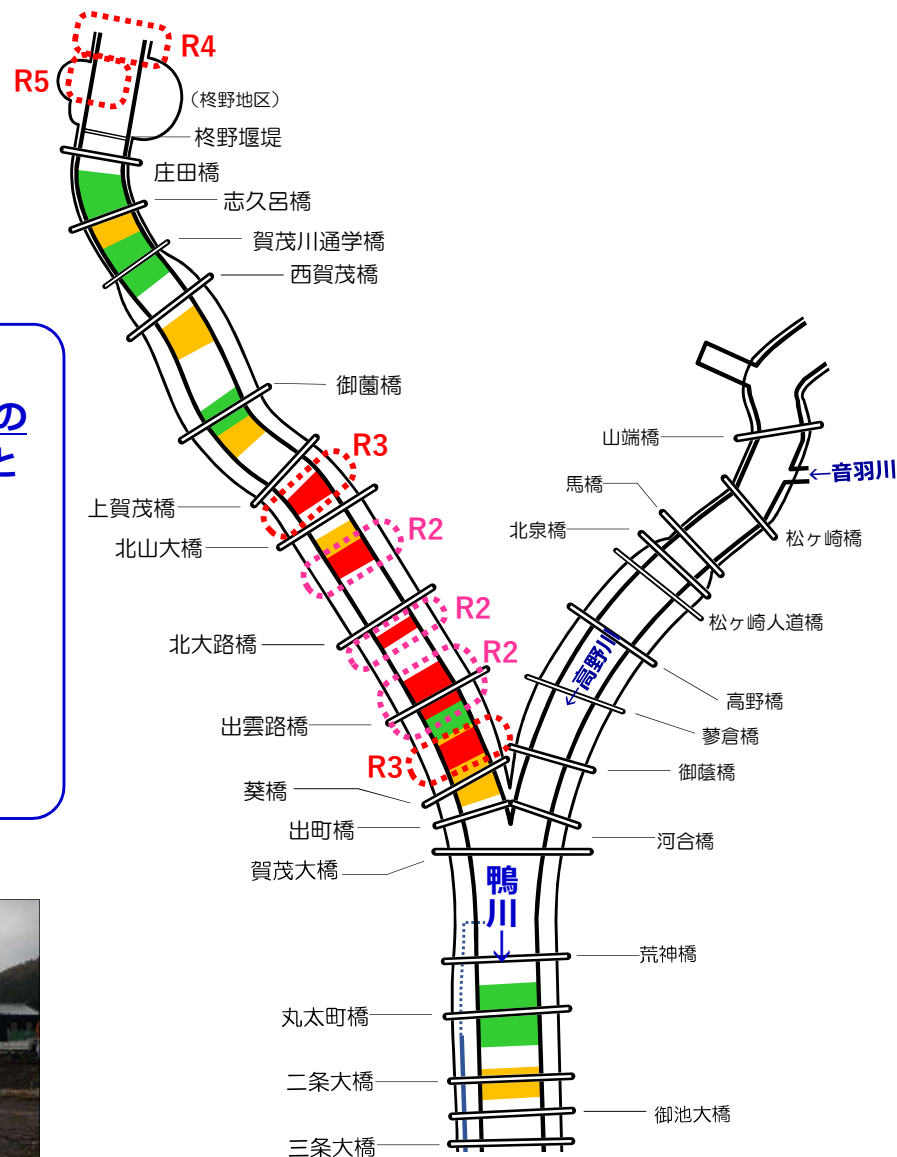
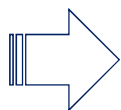
**ランクA**・・・現時点で整備目標洪水に対してHWLを超過する区間

**ランクB**・・・5年後に整備目標洪水に対してHWLを超過する区間

**ランクC**・・・10年後に整備目標洪水に対してHWLを超過する区間

**ランクD**・・・10年後においても整備目標洪水に対してHWLを超過しない区間

### 〈R5実施箇所〉柵野堰堤上流



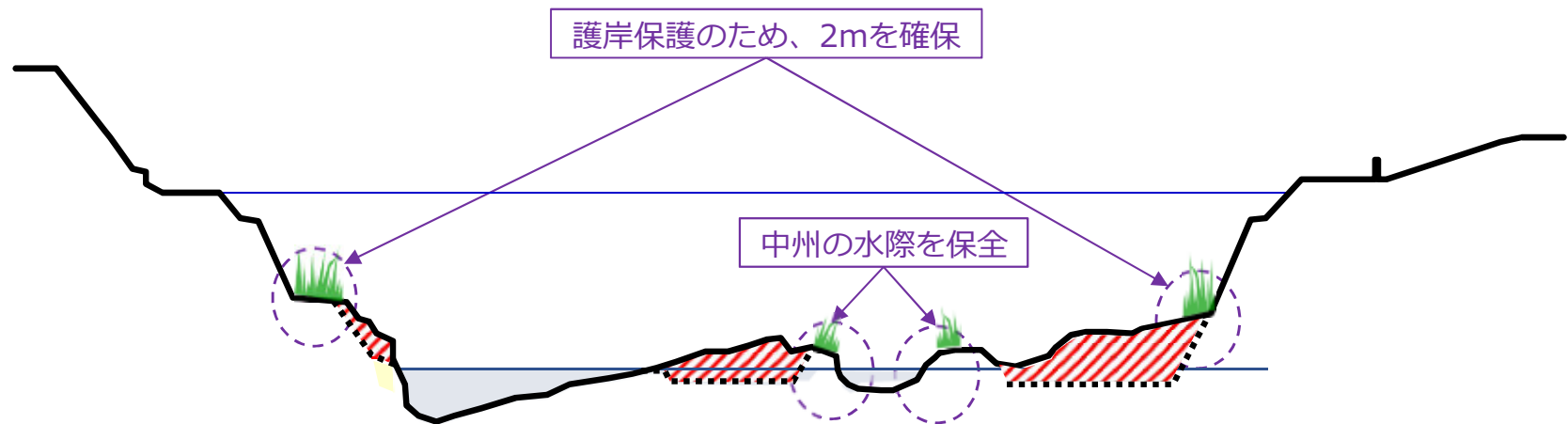
R1年度時点の土砂管理区間設定

# 安心・安全の鴨川をめざして【取組内容】

## 適切な維持管理

〈参考〉中上流部の中州寄州管理

### 河床の掘削方法



- 寄州では深掘れによる護岸の損傷を防ぐため、**護岸付近を幅2m程度残した上で**、掘削を行う。
- また、中州では水際の保全を行うため、**平時における河道の水位※から高さ20cm、幅50cm程度を目安に中洲を残す**ように掘削を行う。

※河道の水位は、H30年度定期横断測量時の水位を使用

# 千年の都・京都の美しい鴨川をめざして

【R5年度の取組】

## 歴史都市・京都における鴨川の保全

### ・鴨川景観のあるべき姿の具体的検討等

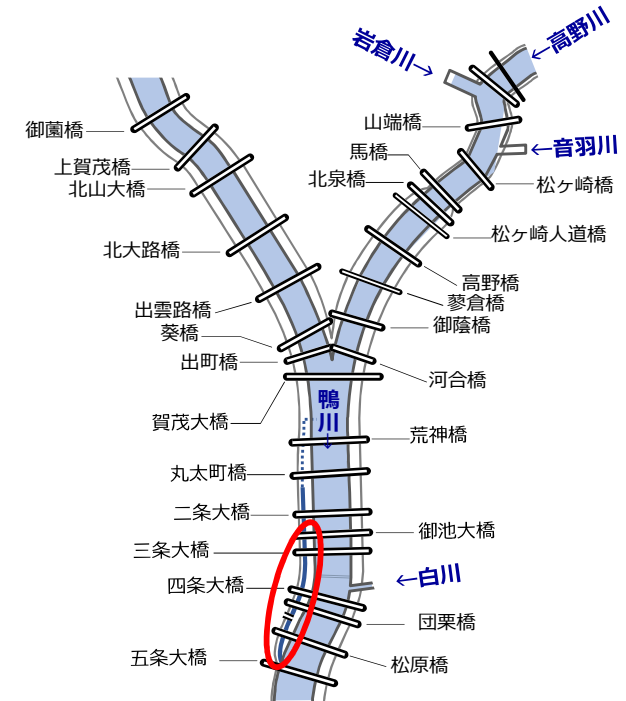
建物等と鴨川が一体となった、歴史都市・京都にふさわしい風情を創出するため、鴨川景観のあるべき姿について検討を実施し、景観形成に資する取組を実施する。

### ■エアコン室外機対策〈鴨川景観対策事業補助金〉

対 象：二条大橋～五条大橋の鴨川右岸（西側）の約300台

補助対象者：対象区間の河川区域に隣接する土地所有者 又は 使用者が構成員となっている団体

補 助 額：上限1万円～4万円を補助（対策の内容による）〔最低自己負担額1万円〕



### 対策事例



### 河川区域内行為の整理、指導等

#### ・不法行為への対策

河川法違反行為（不法占用、不法工作等）、鴨川条例違反行為（BBQ、打上花火等）への適切な対応を行う。

課題：河川敷で飲食、飲酒をする人によるゴミのポイ捨てが深刻な課題。

取組：清掃活動やパトロール、現状周知のための展示会、利用者へのアンケート調査

<鴨川河川敷の清掃・啓発活動を実施（鴨川定例クリーンハイク4回、学生団体クリーンハイク8回、ボランティア団体約300日 京都府335日）>



投棄ゴミの状況



清掃活動



府外中学生クリーンハイク



大学生ボランティアによる清掃

<各関係者との協力による合同パトロールや展示会・アンケートの実施>

9/1～府警やボランティア団体等と合同パトロール



多言語対応の啓発ビラ



パトロールの効果

- ・ごみ放置常習者によるごみがなくなり、全体量が大幅に減少。
- ・パトロール後のごみの量は50%以上減少

実施日	一日あたり 平均ごみ量 (前月)	パトロール後 一日あたり 平均ごみ量	増減率
9 / 1	62.4Kg	14.3Kg	77%減少
11/ 2	49.0Kg	15.0Kg	70%減少
11/22	49.0Kg	17.5Kg	65%減少
12/26	36.0Kg	17.4Kg	51%減少

展示会（植物園）



アンケート（京阪三条駅）



# より一層多くの人々から親しまれる鴨川をめざして【R5年度の取組】

## 鴨川の持つ魅力“楽しみ、憩い、ふれあい”の空間の創出

### ■ 利用者の快適性の向上・黄昏時利用スポットの充実（ライトアップ）

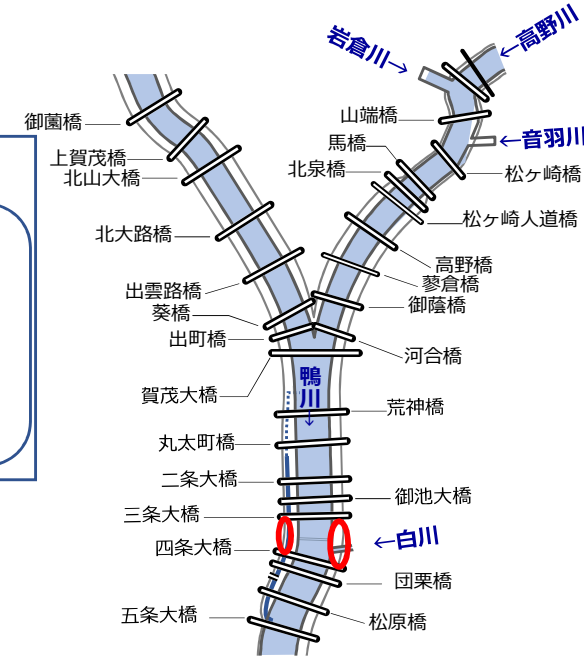
#### ◇ 鴨川三条大橋周辺の安心安全と魅力づくり（府市協働の施策）

##### 安心安全な河川空間づくり

- ・ 河川改修の更なる推進
- ・ 水位・氾濫予測システムの開発
- ・ 河川防災情報の的確な伝達

##### 鴨川の魅力の更なる向上

- ・ エアコン室外機の景観対策
- ・ 鴨川納涼や京の七夕におけるプロジェクションアートや友禅流しのライトアップ等
- ・ **更なる取組について府・市・地域等と連携し検討・実施**



### 府市協働での夜間景観づくり社会実験

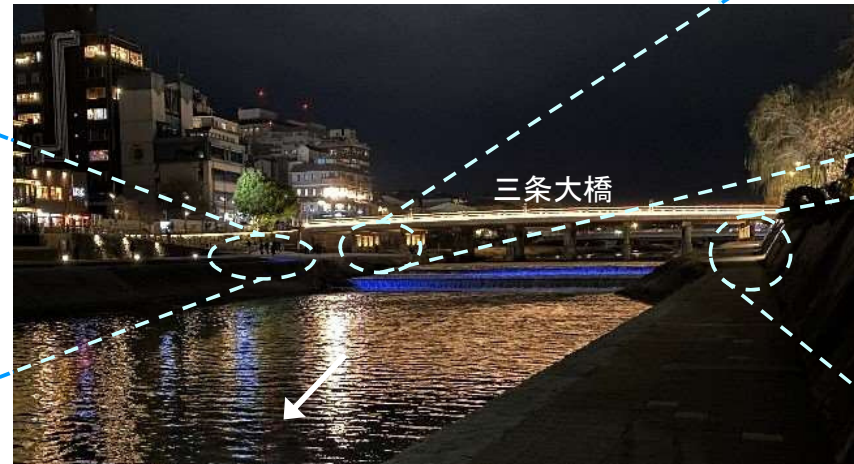
#### <実験概要>

鴨川の魅力を活かしたまちづくり及び魅力的な夜の夜景づくりを進めるため京都市の三条大橋補修完了に併せて、橋桁下及び下流側園路でライトアップの社会実験を実施。

○実験期間：  
令和6年1月16日～22日  
18時～22時



三条大橋下流右岸 園路



※三条大橋の桁上のライトアップは含まない



三条大橋下流右岸 橋桁下



三条大橋下流左岸 園路

# より一層多くの人々から親しまれる鴨川をめざして

【R5年度の取組】

鴨川の持つ魅力“楽しみ、憩い、ふれあい”の空間の創出

## ■河川公共空間の適切な維持管理：園路整備（二条大橋～賀茂大橋）

- 従来実施の「土系舗装」は、降雨によりぬかるみや<sup>わだち</sup>轍ぼれが発生。
- 施工当初の状態を保つためには、定期的な補修が必要。



### ➢ 透水性高炉スラグ舗装

特徴：自然な色合い、高い透水性（参考参照）、ソフトな歩行性（土系舗装と同等のクッション性）  
耐用年数15年以上（メーカー調べ）

〈参考〉舗装の透水性



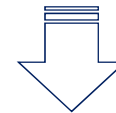
水たまりができやすく歩きにくい



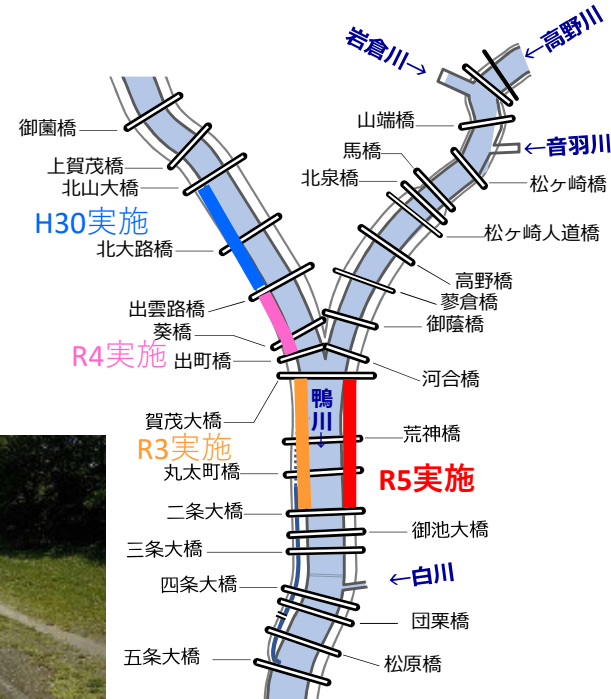
水たまりができにくく、歩きやすい



R5.7.4



R6.1.26



園路舗装改修履歴

# より一層多くの人々から親しまれる鴨川をめざして 【R5年度の取組】

## 鴨川の持つ魅力“楽しみ、憩い、ふれあい”の空間の創出

### ■河川公共空間の適切な維持管理：鴨川公園整備

(取組内容)

樹木が生い茂り全体が薄暗く利用者が少ない状況であったが、既存のクロマツを活かしながら剪定・伐採を行い、明るく開放的な広場や園路に再整備する

#### ①葵地区整備（R4年度までの実施内容）



航空写真（整備前）

#### ②出町橋～葵橋（R5年度実施状況）





# より一層多くの人々から親しまれる鴨川をめざして【R5年度の取組】

## NPOや大学、地域との連携・協働

### ■ 鴨川探検等体験学習や環境教育の展開

鴨川の環境美化啓発活動を目的とする学生団体の主体的な活動を支援すると共に、連携して次世代教育の推進を図る

〈カモシネマ実行委員会の企画（令和5年8月19日）〉

- 鴨川公園（葵地区）のステージでの映画の野外上映会
- 葵公園周辺及び鴨川デルタなどでの清掃活動
- フードロスなど SDGs の取組について紹介するブースでの啓発活動

#### 【カモシネマ実行委員会】

鴨川の環境美化啓発活動を目的として、平成17年度に発足。大学生自らが企画・運営し、鴨川での野外映画上映会、クリーンハイク（清掃活動）、SDGsの取組紹介やまちおこし等に取り組んでいる。



府庁での記者発表の様子



地域の商店街の協力状況

#### 〈京都府の連携〉

- 公園使用の安全管理
- 広報・記者会見の調整
- 地元自治会との調整
- 警察・京都市消防への協力依頼（車輛の展示）
- 当日の運営補助
- 大学本部との調整



映画の野外上映会の様子



清掃活動の様子



府との連携の様子



啓発活動ブースの様子

# より一層多くの人々から親しまれる鴨川をめざして 【R5年度の取組】

## NPOや大学、地域との連携・協働

### ■ 鴨川探検等体験学習や環境教育の展開

鴨川の魅力を改めて発見し、防災や河川愛護、自然環境保全への関心と主体的な取り組みの輪を広げてもらう。



水辺の自然観察会 (R5.5.27実施)



生き物観察 (R5.7.23実施)



水辺の自然観察会 (R5.10.22実施)

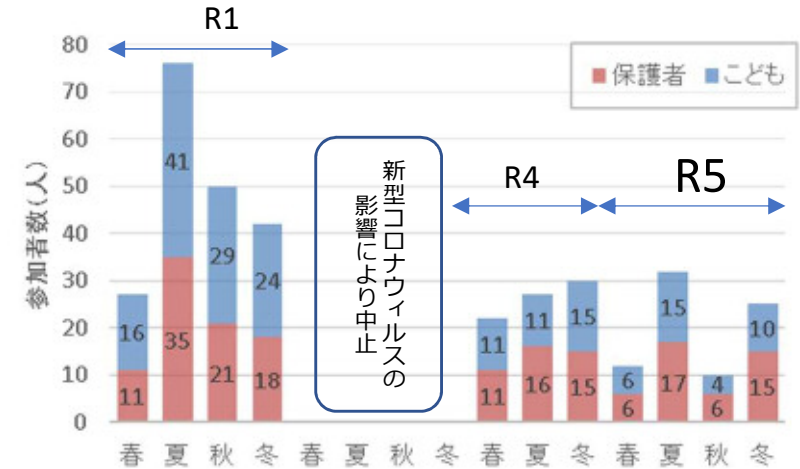
### <R5年度開催結果>

対象期間：R5 (第66～69弾)

<4回開催>

参加人数：子ども 34人 (37)  
保護者 43人 (42)  
計 77人 (79)

※カッコ内の数字はR4年度実績



### 【第66弾 (水辺の自然観察会)】

<良かった点>

- ・馴染みのない植物の名前を自由に質問し知ることができて良かった。(保護者)
- ・植物に詳しい先生が多く、植物の名前をたくさん教えてもらった。(保護者)

<その他感じたこと>

- ・かたつむりやいろいろな生き物がいておもしろかった。(子ども)
- ・子どもが自然にふれあえたこと。(保護者)

### 【第67弾 (生き物観察)】

<良かった点>

- ・生物の採り方や種類の多さを教えてもらい勉強になった。(保護者)
- ・初めて自分でお魚を取れたこと。(子ども)

<その他感じたこと>

- ・見たことのない、生き物がたくさんいると感じた。(子ども)
- ・川にはメダカや小さな生き物たちがいっぱいいた。(子ども)

### 【第68弾 (水辺の自然観察会)】

<良かった点>

- ・色々詳しく教えていただき、植物にますます興味をもちました。(保護者)

- ・普段虫取りなどする機会がないので、のびのびできていた。(保護者)

<その他感じたこと>

- ・子どもに対して行動マナーを開始前に確認してほしい(保護者)
- ・探検の時間を長くしてほしい(子ども)